

提案者

宮城県仙台市

事業分野

移動革命の実現、快適なインフラ・まちづくり、SIP等の活用

背景・課題

目指す
将来像

- 沿岸部、都市部、山間部まであらゆる展開フィールドが揃う仙台市特有の地の利を活かし、産学官連携の下、ドローン等の近未来技術実証を促進し、被災地からの新しい経済成長のモデルを構築

解決すべき
課題

- 東日本大震災の沿岸被災地では、津波からの避難や被害状況把握の遅れ、道路損壊による孤立地域が多数発生
- 橋梁をはじめとする社会インフラの老朽化（使用年数30年超）

2020年度までの事業内容

- 事業：・ドローンと4G通信やAI、IoT、MEC等を組み合わせた防災・減災プラットフォームの構築、プライベートLTE通信網の構築
・球殻ドローンによる橋梁の点検業務への一部活用

活用技術

事業概要

ドローン

- 沿岸地区へのドローン基地の設置、4G通信、AI、IoT、MEC(※)等を使った防災・減災ドローンプラットフォームの構築、テスト運用
- 沿岸地区へのプライベートLTE基地局の設置、システム構築、テスト運用
- 橋梁の点検業務への球殻ドローン技術の取り込み、テスト運用

※MECとは、移動通信網において、基地局など近い位置にサーバやストレージを配備する仕組みで、ネットワークの遅延低減、負荷分散が見込まれるもの



ドローンによる津波避難広報



球殻ドローン